

プロフィール

阿久根 謙司（あくね けんじ）

1961年、埼玉県所沢市生まれ。

- ・幼少期から野球選手。
- ・早稲田実業高校2年生時に甲子園に2度出場。
- ・早稲田大学野球部では4年生時に主将を務め、第12回日米大学野球日本代表、東京六大学野球ベストナインに2度選出される。
- ・1984年東京ガス（株）入社。社会人野球の東京ガスで選手として7年間プレーし、引退後一時社業に就くが、その後東京ガス硬式野球部コーチ・監督を歴任（計5年間）。
- ・2011年2月よりFC東京社長に就任。J2に降格したFC東京を1年でJ1に復帰に導く。2015年1月末退任。
- ・東京ガスケミカル（株）取締役常務執行役員を経て現在 東京ガス星光会 会長補佐。

<コーチング>

- ・コーチング歴28年
- ・FC東京時代は社長としてコーチングマネジメントを駆使しJ2に降格したFC東京を1年でJ1復帰させ、観客動員を増加、赤字を黒字転換させた。
- ・J2優勝後からコーチングの講演を依頼され、以来講演は23年目。年間30～50回の講演を依頼されている。
- ・企業のコーチングマネジメントコンサルティング事業も実施中。
- ・2018年度東京ガス埼玉支社長時代に、さいたま市の細田真由美教育長から依頼され、市内約170校の公立小中高校の先生に対してコーチング指導を実施し、現在6年目。2021年度からは三鷹市貝ノ瀬教育長からの依頼で、市内約700名の小中学校の先生にもコーチング指導を実施。
- ・2021年度からは、両市において教育長からの依頼で、スポーツ庁主導の中学校部活の地域移行に際し、土日の指導を実施中の外部指導員に対してもコーチング研修を実施したうえで、土日の指導現場を巡回しコーチング指導をサポート中。令和4年度のスポーツ庁発行の「運動部活動の地域移行等に関する実践研究事例集」にさいたま市での「指導者全員を対象として、子どもに主体性を引き出す「コーチングスキル研修」を実施」と掲載される。
- ・2019年10月31日の第58回全国学校体育研究大会埼玉大会、2023年1月19日の日本中学校体育連盟研究大会福岡大会にて基調講演を依頼され、以降全国の中学校・高校の教育委員会等からコーチング講演会の依頼を受ける。